

【福島市】

| | |
|-------|----------------------------------|
| 会 議 名 | 平成31年1月18日定例記者会見 |
| 日 時 | 平成31年1月18日（金） 午前10時30分～11時07分 |
| 場 所 | 庁議室 |

| 発言者 | 内 容 |
|------|---|
| 広報課長 | <p>それでは定刻になりましたので、ただいまから記者会見を始めます。本日は市からの発表事項が4件となっております。それでは市長からご説明申し上げます。</p> |
| 市長 | <p>市からの発表事項</p> <p>（1）平成31年1月市議会緊急会議提出議案</p> <p>はい、おはようございます。私から発表させていただきます。まず最初の案件ですが、1月22日に市議会に緊急会議を開いていただきます。そして、補正予算を提出し、審議をしていただくということにしておりますのでその補正予算案の内容をご説明いたします。</p> <p>資料の2ページ目になりますが、補正額は全体で2,972万2千円ということですので一般会計になります。内容的には資料の3ページ目をご覧いただきたいと思いますが、全体的な話で申し上げますと、去年の末に風格ある県都を目指すまちづくり構想というのを発表させていただきました。そしてそれを踏まえて、これから個別の施設などの検討に入ってくるわけでありまして。コンベンション施設、それから図書館、そして新しい西庁舎、これらの検討を進めなければなりません。まだ施設の内容についてはなにも決まっていないですが、施設の中身を検討して、次の設計とかそういった段階に入っていくうえではやはり早めに検討を進めていく必要があります。とりわけ次の年度、来年度ではなくて2020年度の予算を考えますと、予算編成時期には次どのようなものにしたうえで検討を進めていくかという見通しが立っていないと、次のステップに進めずにどんどんまた遅れてしまうということになります。このような新しい施策、新しい施設の整備を検討する予算というのは、新年度の当初予算に計上するのが通常であります。今回あえて市議会に緊急会議のお願いをして、そして補正予算案を提出するというものであります。</p> <p>内容的には、まずひとつは福島駅前交流・集客拠点施設整備事業費ということで、これはいわゆるコンベンション施設です。コンベンション施設に関しては、東口の再開発ビルの中に入れて、そして連携をして取り組んでいくということにしておりますが、そ</p> |

【福島市】

の内容を検討していくにあたりまして策定委員会を開催し、基本計画を策定する経費がこの2,822万5千円ということであり、また、これに関してはさまざまな調査などが必要になってくると思います。特にポイントになるのはどのような使い方をするか、あるいは規模などが挙げられますが、そういった調査をするうえでは業務委託をさせていただきます。そしてこの年度末に業務委託をするという関係上、翌年度にも繰り越しをして実施をいたしますが、そのために今年年間を通じた検討予算の全体が必要になってきますので、2,822万5千円という金額を計上させていただくものであります。

そして2と3が新しい西庁舎の関連事業費、そして図書館の事業費であります。こちらまずは市民懇談会や検討会を開催して、そしてまた市民のみなさまに対するアンケート調査を実施して市民ニーズを吸い上げながら検討を始めていくということになります。あくまでも今年度実施するだけの経費を計上させていただいていますので、金額は72万2千円、そして77万5千円というかたちになっています。こういったかたちで、この風格ある県都を目指すまちづくり構想いよいよ始動ということで今回補正予算を提出させていただく予定であります。

（2）福島市の新たなキャッチフレーズを募集します

それから2点目は、前回の記者会見、年頭の記者会見のときにも申し上げましたが、福島市の新たなキャッチフレーズを募集しますということで、具体的な募集を今日から始めるというものであります。このリード文に書いてありますが、1年後には東京オリンピック・パラリンピックが開催されて、まさに本市が世界にアピールする絶好の機会であります。この機会に、新生福島市を県外、そして世界に向けて発信する、わかりやすくインパクトのあるキャッチフレーズとロゴマークを作りたいということで、まずキャッチフレーズについての募集を行います。資料の1にありますように、応募作品は福島らしさを表現するもの、それから福島市民の皆さんが親しみを持てるもの、そして市外、県外、世界へと福島の魅力強くアピールできるもの。こういったものをぜひ応募いただきたいと思います。資料2の応募資格は市内、市外を問わずどなたでも結構です。募集期間は今日から2月18日までです。応募方法は専用のフォームをはじめ、はがき、ファックス、持参などがありますので適宜選択いただければと思います。このキャッチフレーズを決めるにあたって、まずは一般公募をしたうえで選考委員会を作って5作品程度選定し、その5作品を市民投票にかけて新しいキャッチフレーズをできれば年度内に決定したいと考えております。キャッチフレーズ採用作品には賞金5万

円を差し上げることにしています。それからロゴマークはあくまでもキャッチフレーズと連動させていく必要がありますので、キャッチフレーズが決まった後にまた募集をしたいと考えていて、大体5月からということでもあります。キャッチフレーズの募集のチラシについては皆さまにお配りしている通りであります。

（3） 保育士等緊急募集 合同相談・面接会開催

それから3点目になりますが、保育所やこども園で働く保育士のかたの緊急募集をするというものであります。そしてまた合同相談・面接会を開催しますというお知らせになります。

今、福島市内の公立・私立を問いませんが、認可保育施設では保育士や看護師、調理職などの人材不足が深刻な状況になっております。そして待機児童をなんとか解消しようということで、平成31年4月までには、去年の10月と比較すると公立・私立で11の保育施設が開設されて、475名分の受け皿が拡大されるという見通しになっています。とにかく我々としては、この拡大した分をしっかりと受け入れられるようにしていきたいと思うのですが、ここで保育士さんがいないと、あるいは看護師、調理職がいないと、受け入れる人数が抑制されてしまうことになります。それが今非常に不足している状況にあり、ぜひともこの拡大した枠を有効に使えるように、保育士などの緊急募集を世間に向かって訴えたいと思っております。多くのおみなさんのご応募・ご参加をお待ちいたしております。

合同相談・面接会を開くわけですが、これだけでは来られないという方もいらっしゃるかと思いますので、そういう方には資料の3にあるように「ふくしま市保育人材バンク」というところで随時相談を受け付けていますのでご利用いただければと思います。まず私立と公立の合同就職相談会ですが、こちらは2月9日（土）、保健福祉センター5階の会議室で開催いたします。時間書いてありませんがそれはそれでお知らせしたいと思いますが、対象はこちらの市内の認可保育施設での就労を希望する①～⑤の方ということでもあります。こちらには認可保育施設ごとに相談ブースを設けて、そして時間内であれば自由に移動できるという形になっています。また資料の2は、公立の保育所・認定こども園のための合同面接会ではありますが、1月27日（日）に保健福祉センター2階の第2小会議室で開催します。

そして資料の3がふくしま市保育人材バンク。こちらは相談・面接会に参加できない方には随時こちらにご連絡をいただければ各種相談に応じて、さまざまな調整をさせていただくことにしています。

こういった保育士を募集するうえで感じるのは、特に先在保育士

のみなさんがたが現場を離れていると、いまの保育どうなっているんだろうというので非常に不安を持たれています。仮に現場にいてもそういうかたも結構いらっしゃるんですね。そのためには市として、そういう方をしっかりと公立保育園で研修できる仕組みを作ったわけですが、若干それだと心理的なハードルが高いのではないかなと思いました。気楽にいったん保育所をのぞいてもらって、そして保育のやり方とかを見ていただければ、年末の認可外保育園での事件もありましたけども、そういった面でも不安を持たれる方がこういうふうになればちゃんとできるんだと見ていただけると考えまして、そしてこの公立保育所におきまして、体験の受け入れをして実際に体験していただいて、勇気をもってまた現場に入っていたいただきたいというふうに思っております。

ちなみに今どれだけ足りないかという、公立では56人、それから私立では41人です。公立では今、正規職員は募集していませんがさまざまな雇用形態、嘱託とか臨時、あるいはパートさん。要するに短時間の勤務を含めて56人。それから私立も正規の職員とか、それぞれの保育所で雇用形態が異なりますが、さまざまな形態の働き方ができるやり方での保育士を募集していますので、そういう非常に厳しい状況だということをご承知いただければと思っております。また、調理職の方も公立だけで実は今12人足りないという状況になっています。とにかく枠の拡大だけではなくて、それを生かすための人員募集、保育士などの職のみなさまにはぜひご応募いただきたいと考えております。3点目は以上です。

(4) 冬の温泉めぐりに出掛けませんか～「ふくしま三湯物語」^{さんとう}を販売～

それから4点目になりますが、冬の温泉めぐりに出掛けませんか～「ふくしま三湯物語」を販売～ということになります。

このようなものを作らせていただきましたけども、本市の温泉に関して若干ネックになっているのが、冬場は高湯温泉とか土湯温泉になると、私もそうなんですけど車で行くには少し控えてしまうというか、若干怖いという面があって、それでどうしても足が延ばせない傾向にあります。それから前々から言われていたのは、この市の中心部からそれぞれの温泉地に至るルートというのはあるのですが、温泉地間を結ぶ公共交通というのはこれまでありませんでした。そういったことから、今回は冬の温泉観光の支援というか、刺激と公共交通の社会実験という形で、そしてこういった商品を作ろうということで今回、このふくしま三湯物語というものを作らせていただきました。

【福島市】

期間は2月16日から3月17日までの30日間の予定でクーポン付きのフリー券を販売するということです。資料の14ページをお開きいただきたいと思いますが、これまで飯坂に関してはこの飯坂線があるわけです。それから高湯温泉、土湯温泉にはそれぞれバス路線があります。しかしこれを横につなぐ路線がないため、今回はこの飯坂と高湯、間にここらというJAの産直と中野不動尊を經由するコースをひとつ作ると。それから高湯と土湯を結ぶ路線を作ると。これも途中で、ここらと四季の里を停留所にする。こういう設定をいたしまして、横の路線と縦の路線、それぞれの中心部と温泉地を結ぶ路線、これらをパッケージにしたというものであります。

1日フリー券は2,000円、2日フリー券は2,500円。ご覧いただければ分かる通り、例えば土湯温泉それから高湯に行く路線はウとエにありますけど、通常でも片道で840円になります。こういった駅との往復と、またそれぞれ横の路線も含めても2,000円で行けます。そしてクーポンとして四季の里のアサヒビール園での特典とか、あるいは水車小屋での割引とか、さらにはここらでのプレゼントなどの特典を入れていきますので、その点ではたいへんお得ではないかと思っております。

合わせて(2)にありますがお得な入浴券として3つの温泉地の入浴券を1,300円で販売します。1日まわって歩けば3,300円でいろんな温泉めぐりができるということなのでたいへんお得ではないかと思っております。販売窓口は福島交通の窓口、それから飯坂、土湯、高湯の各温泉の観光協会、それから協賛の温泉施設になっております。これは最初も申しあげましたように、公共交通の社会実験という仕組みも取り入れてやります。去年はそれで、森合のバスが今年化されていますし、一方で大笹生地区などでやっていたジャンボタクシーによる社会実験は、ちょっとこれはうまくいかないということでその後運行を断念したわけですが、今回は地方創生交付金を活用いたしまして、そして全体の予算額1千万円でこういった協賛の仕組みをうまく活用しながら本市の観光推進あるいは課題解決を図ろうというものであります。こちらもぜひご利用いただければと思います。なお、皆さまのところには、この三湯物語のバスの時間とか、あるいは最後のページには入浴の受け入れ旅館、こういったものも出ておりますのでご覧いただければと思います。

発表事項は以上ですが、簡単な報告だけさせていただきたく思います。実は今日から、前回発表しましたふくしま市民応援団、最初は1月27日から申し込みができるということにしていたが、やはりそれは遅いということでいろいろ事務方も頑張りました、今日から申し込みができるという状況になりました。それ

【福島市】

| | |
|-------------|--|
| | <p>から対象のほうも、例えば学生さんであれば福島市にお住まいのかただけではなくて、学生の仲間内でいろいろやっていただくとかそういったことも考えられますので、その点では福島市に通勤・通学されているかたも対象の拡大をいたしまして、この市民応援団にエントリーいただければというふうに考えております。あと、昨年にご発表したごみのアプリを15日からダウンロードできるようになっていますが、今日の9時の段階、実質的には3日間となりますけども、今のところ680件ダウンロードいただきました。その点では本当にこのごみに対する関心が高いなというのが伺えましたので報告をさせていただきたいと思います。私からは以上です。</p> |
| <p>広報課長</p> | <p>それでは発表中に資料の訂正が一箇所ございました。記者発表資料(3)の保育士等緊急募集 合同相談・面接会開催の部分で、4月までには公立・私立の保育施設の数「9」となっていたところを「11」に訂正をお願いします。</p> |
| <p>市長</p> | <p>そういう見通しでやっております。</p> |
| <p>広報課長</p> | <p>たいへん申し訳ございませんでした。</p> |
| <p>広報課長</p> | <p>質疑応答 それではただいまの発表事項について、質疑応答に移ります。ご質問がありましたら挙手指名ののち、社名とお名前をおっしゃっていただきご発言をお願いいたします。それではご質問をお願いいたします。</p> |
| <p>時事通信</p> | <p>時事通信の清水です。前回の会見での質問と少し重なりますが、これまでのキャッチフレーズ「花もみもある福島市」があるなかで、なぜ新しいキャッチフレーズを募集するのかと、今のキャッチフレーズも普段見かけることがないと思いますが、新キャッチフレーズはどういう場面で活用していきたいとお考えですか。</p> |
| <p>市長</p> | <p>「花もみもある福島市」というキャッチフレーズは、前回の会見時にある記者さんから非常に良いと好評をいただいたのですが、いろいろお聞きしますとインパクトに欠けるのではないかという声も出ています。私自身も若干そう思う部分もあって、なかなか英語で説明しづらいというか、英語にした場合「Fukushima-city with Fruits and Flowers」なのかもしれませんが、これ自体市民公募というかたちではなく、行政内部で作ったという経緯があります。震災前の平成15年に決めたわけです</p> |

【福島市】

| | |
|------|--|
| | <p>が、その震災を経て復興に挑み、そして新しい福島市をつくって いこうというなかで、気持ちも新たに新しい福島市というものを アピールしていこうということで、市民参加で「みんなで作った」 というプロセスを経てやっていきたいということで募集を します。</p> |
| 時事通信 | <p>どういった場面で活用されるのでしょうか。</p> |
| 市長 | <p>もちろんシティプロモーションの一番の核になるのでいろんな 場面で使っていきます。</p> |
| 福島民報 | <p>福島民報の菅原と申します。キャッチフレーズの関連ですが、今 までキャッチフレーズ採用で賞金がついたり市民で決選投票を したりというのは聞いたことがなかったのですが、これは初めての の試みになるのでしょうか。</p> |
| 市長 | <p>公募は初めてです。少なくとも今のキャッチフレーズ「花もみも ある福島市」というのは平成15年に当時の市長が決めて市役所 で使いましょうとなりました。定着してみるとみなさんそれなり のものと受け止められていると思いますが、そういうプロセスは ありませんでした。</p> |
| 共同通信 | <p>共同通信の井沼です。補正予算の関係ですが、新庁舎建設関連事 業費と図書館整備事業費は今年度分だけで70万円もかかるも のなのかなと。昨年市長が実施されていた懇談会とは規模が違 うのでしょうか。</p> |
| 市長 | <p>今回は一般市民を対象にしたアンケートを実施します。ただアン ケートしたい人だけを対象にしてしまうと偏りがでてしまいま す。そのため無作為抽出のやり方をしなければならないので、あ る程度のコストはかかります。あと委員会も開催しますからその 開催経費もかかります。あくまで事務的な経費ですから、むしろ これで計上するのかと、私は感じています。</p> |
| 共同通信 | <p>アンケート調査はどのように行うのでしょうか。</p> |
| 市長 | <p>無作為抽出で行います。図書館に関していえば、まずどのような 図書館を望むかというのは今現在市民のみなさんからの意見が 割れている状況です。例えば駅の近くにたむろできるような図書 館をつくってほしいとか、広々とゆったりした場所にしてほしい とか。図書館の機能においても、福島市では「図書館」という名</p> |

【福島市】

| | |
|------|---|
| | <p>前が付く所は少なく、各学習センターに「図書室」があります。ここがとても充実していて、事実上そこで本の貸し借りはできています。なので今回の新図書館も、本の貸し借りは今まで通り各所で行うなどの連携を強めればそんなに大きくしなくてもよいというかたもいれば、中央図書館を充実したものにしてほしいというかたもいる。図書館は幅広く使われるものですから、偏りのない無作為抽出の方法をとって、内容については最初の検討委員会に了解を得たうえでやろうかと考えています。ただ時間的な問題もあるのでまだ検討段階ですが、実際のニーズに応えたかたちで進めていきます。それから新しい西庁舎も、機能面では現在の市民会館や生涯学習センターの機能を統合しますので、一種の市民交流センター的な機能が強化されます。その点でどういう使い方をすればよいのかという幅広い話になるので、お話を聞きたいと思っています。</p> |
| 共同通信 | <p>すみませんもう一点。同じ補正予算関連で、コンベンション施設の調査の業務委託先というのはもう決まっているのでしょうか。</p> |
| 市長 | <p>これからです。入札の契約に手順に従って実施していきます。</p> |
| 時事通信 | <p>キャッチフレーズの件で追加でお伺いしますが、キャッチフレーズは3月末に決定予定でロゴマークは5月頃から募集開始ということですが、ロゴマークが決まる前にキャッチフレーズだけで使用を開始するのと、一般投票で決定ということですがネットなどで市民に限らず応募できるのか、あるいは市民限定による手法なのかを教えてください。</p> |
| 市長 | <p>資料に書いてありますが市民限定ではありません。キャッチフレーズはロゴがなくても決まった瞬間から使って構わないと私は思っています。</p> |
| 朝日新聞 | <p>朝日新聞の古源です。補正予算関連のスケジュールを確認したいのですが、拠点施設の策定委員会、新庁舎の市民懇談会、図書館の検討委員会は1月22日の緊急会議が終わったあとどれくらいの時期に第1回をやりたいという執行部の考えはおありでしょうか。</p> |
| 市長 | <p>何月とはまだ決めていませんが年度内にやる予定です。3月になると議会があって時間が限られてくるので、2月かなとは思っています。ただ我々として腹積もりがあっても、相手のある話にもなってきますので。</p> |

【福島市】

| | |
|------|--|
| 朝日新聞 | 8日の会見時私は出られなくてその時質問があったかもしれませんが、臨時議会ではなく緊急会議という形をとったのはどういう意味なのでしょう。 |
| 市長 | 普通の自治体であれば臨時議会と呼ぶのですが、福島市は一年中議会が開催されている通年議会であり、臨時議会という概念自体がありません。 |
| 朝日新聞 | なるほど。どこかの自治体の臨時議会と同じように議決としては同じような結果なのでしょう。 |
| 市長 | 例えば県であれば「第〇〇回定例会」なのです。福島市の場合は「〇〇月定例会議」という会議です。通年なので臨時がなく、定例会議に対してそうじゃない時期にやるから緊急会議という名称になります。なので我々からすれば議会が開催しやすい点もあります。議会も議会改革の一環としてこういう仕組みを作りましたし、昨年も待機児童と観光の関係で1月に緊急会議を開いていただきました。機動的に議会にお諮りができるのはそういった改革の成果だろうと受け止めています。 |
| 広報課長 | 他にありましたらお願いします。ありませんでしょうか。 |
| 市長 | 保育士の緊急募集よろしくお願いします。応募が来ないことには受け入れられないので。ぜひご協力お願いします。 |
| 広報課長 | 発表事項についてご質問がないようですので、その他の質問を承ります。 |
| 福島民報 | 福島民報の菅原です。古関裕而さんの野球殿堂入りに関してですが、実現する会は今後どういう活動をしていくか構想がありましたら教えてください。 |
| 市長 | 15日にコメントを出させていただいた通りたいへん残念でしたが、実際には1回目ではかなり難しいと言われていました。今回ダメだったからといって諦めるのではなくて、オリンピックもひとつの機会ですから「来年こそは」という気持ちで、これからも実現にむけて機運を高めたりさまざまな取り組みをしていきたいと思っています。ついでには実現する会をできれば2月中に開催して、今回の経過をみなさまにご説明し、併せて今後どのような取り組みをしていくかという運動方針を議論して確認してい |

【福島市】

| | |
|------|---|
| 広報課長 | きたいと考えています。 閉会 ご質問がないようなので、以上を持ちまして定例記者会見を終了 します。皆さまたいへんお疲れさまでした。 |
|------|---|